

植物栽培試験の実績

ナスを用いた栽培試験

プランターにて培土のみで栽培する対照区、培土に「サイクル」を2個、3個、4個を混入し栽培する試験区
(2個区、3個区、4個区)4種を設け栽培。

約2か月後に実を収穫し、プランターから植物体を抜き取った生重とそれを十分に乾燥させた状態の乾燥重を比較しました。



対象区



2個区



3個区

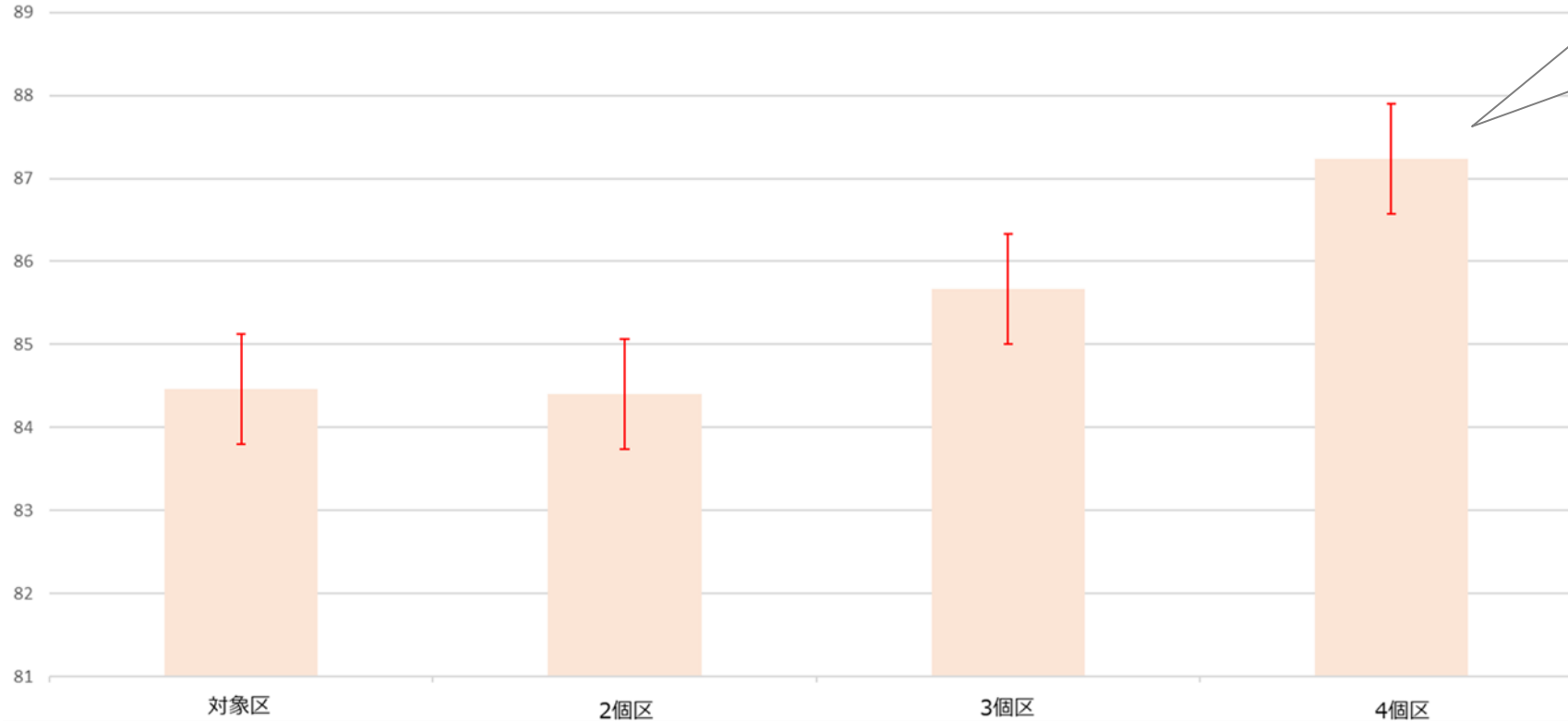


4個区

※上記の写真は栽培開始から約2か月後の様子

含水率の比較

プランター栽培ナス 含水率(%)



対象区と2個区での有意はなし。
サイクルの数が増えるほど、
植物体の含水率が上がると考え
られます。

サイクルを混入した培土を使用し野菜の栽培試験を行っても、
生育上問題なく栽培できることが確認できました。
また、サイクルを含む培土では植物体の含水率が上がることも確認できました。